

評価問題例

- 1 y は x に反比例し、 $x=2$ のとき、 $y=-6$ です。
 y を x の式で表しなさい。
- 2 次の x , y の関係を式に表し、比例か反比例を答えなさい。
 - (1) 1 m の値段が 70 円のリボンを x m 買ったときの代金 y 円
 - (2) 面積 20 cm^2 の平行四辺形の底辺 $x \text{ cm}$ と高さ $y \text{ cm}$
 - (3) 40 l はいる容器に毎分 $x \text{ l}$ の割合で水を入れていくと、 y 分でいっぱいになる。
- 3 2 において、比例するものは反比例に、反比例するものは比例するように文章を変えなさい。

x , y の値から形式的に比例の式 $y=-3x$ と解答しないように、題意を正確に把握する。

具体的な数量と結び付けてとらえ、 x , y の関係の式が正しいか確認する。

[単元の流れへ](#)

評価問題のポイント

[HOME](#)

[本時の流れへ](#)

比例と反比例については、その性質をとらえるものとして表、グラフ、式を丁寧に指導するが、それぞれの違いを比較し、具体的事象をもとに考える機会が少ない。

1 の問題については、府学力診断テストでも多い誤答であるが、 $x=2$, $y=-6$ という値から $(-6) \div 2 = -3$ と計算し、 $y=-3x$ という比例の式を答えることが考えられる。 x , y の値だけで形式的に答えを出さず、題意をしっかり把握させるようにしたい。

2 の問題については、題意を正確にとらえず、1 の誤答と同様に答える場合が考えられる。式を求めるだけでなく、具体的な数量について関係の式が正しいか判断させたい。

例：(2) $y=20x$ と誤答したとき、底辺を 10 cm であるときを考えさせ、式が正しくないことに気付かせる。

3 の問題については、伴って変わる 2 つの数量を変え、文章で表現することで、比例と反比例の性質の違いをみる。